

## ◆ 今週のコメント

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.46で、過去5年平均値(0.82)を上回る値となっています。行政区別にみると、先週に引き続き特に南区(7.33)で多くなっています。
- ・ 手足口病の定点当たり報告数は0.51(21例)で、過去5年平均値(0.10)を上回る値となっています。年齢階級別にみると、1歳(7例)と2歳(7例)で最も多く、66.7%を占めています。
- ・ 流行性角結膜炎の定点当たり報告数は0.90(9例)で、過去5年平均値(0.60)を上回る値となっています。

## ◆ 今週のトピックス:<麻しん>

- ・ 今週の報告は3例で、五類の全数報告感染症となった今年の累積報告数は6例となっています。詳細はトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 2例(喀痰塗抹陽性 なし)【1月以降の累積報告数 55例(喀痰塗抹陽性 14例)】
- ・ 五類:麻しん 3例

### 定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ <sup>†</sup>	インフルエンザ	3.51	239
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.90	283
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.46	60
	③ 水痘	0.85	35
	④ 手足口病	0.51	21
	⑤ 突発性発しん	0.46	19
眼科	流行性角結膜炎	0.90	9

### 病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP、糞便をFC、髄液をSF、尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
ノロウイルスGII型(2)	感染性胃腸炎(第7週)	FC

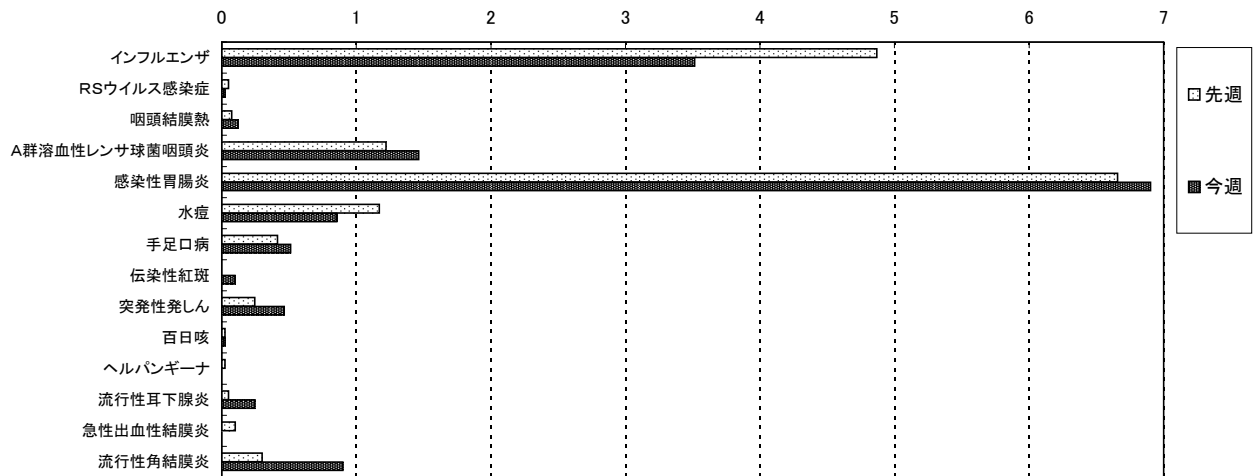
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<麻しん>

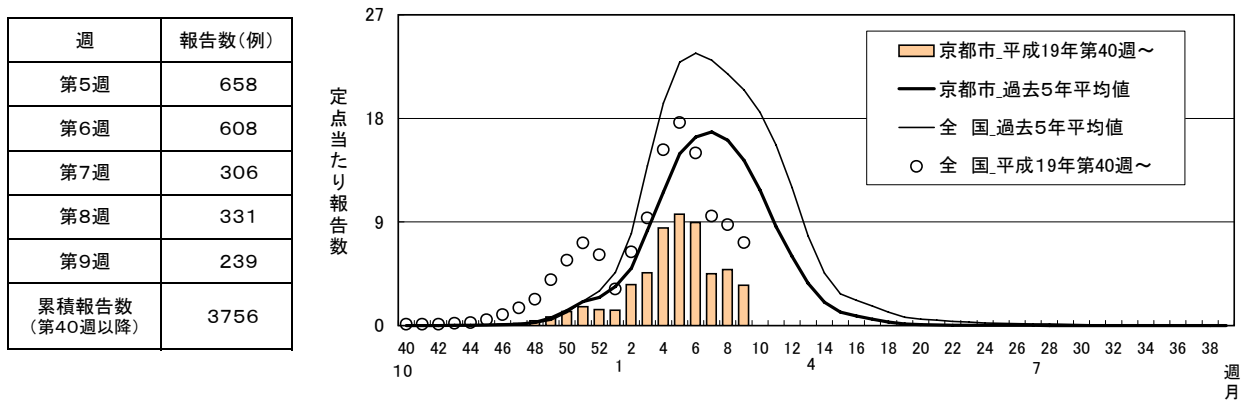
(注)京都市のデータは、平成20年3月7日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第9週)と先週(第8週)の定点当たり報告数の比較

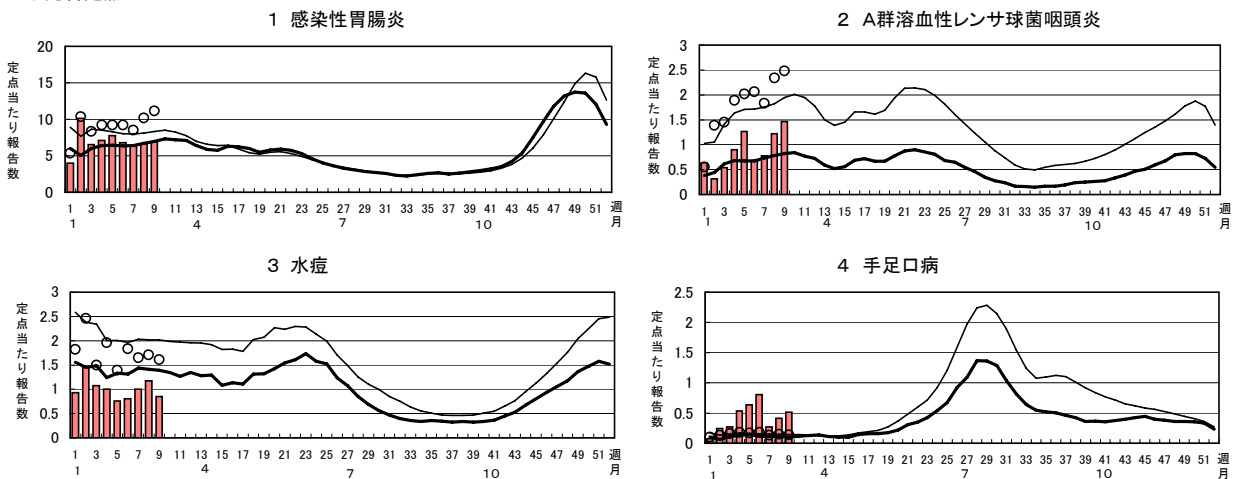


## 2 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

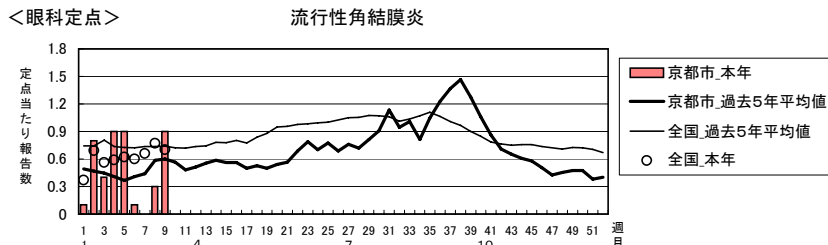


## 3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



# 今週(第9週)のトピックス:〈麻しん〉

今週の報告は3例で、五類の全数報告感染症となった今年の累積報告数は、6例となっています。

都道府県別報告状況を見ると、局所的に報告の多い地域がみられ、第9週は、神奈川県(174例)、東京都(68例)、福岡県(42例)、千葉県(30例)の順に多くなっています。

全国の年齢群別構成割合では、15～19歳が25.1%と最も多く、次いで10～14歳の20.4%の順となっており、10歳代で45.5%を占めています。20歳代は23.8%，9歳以下は、20.6%を占めています。

なお、本市においても10歳代が6例中、3例と最も多くなっています。

病型は、全国では臨床診断例、検査診断例、修飾麻しんの順で、本市では、臨床診断例、検査診断例が各3例です。

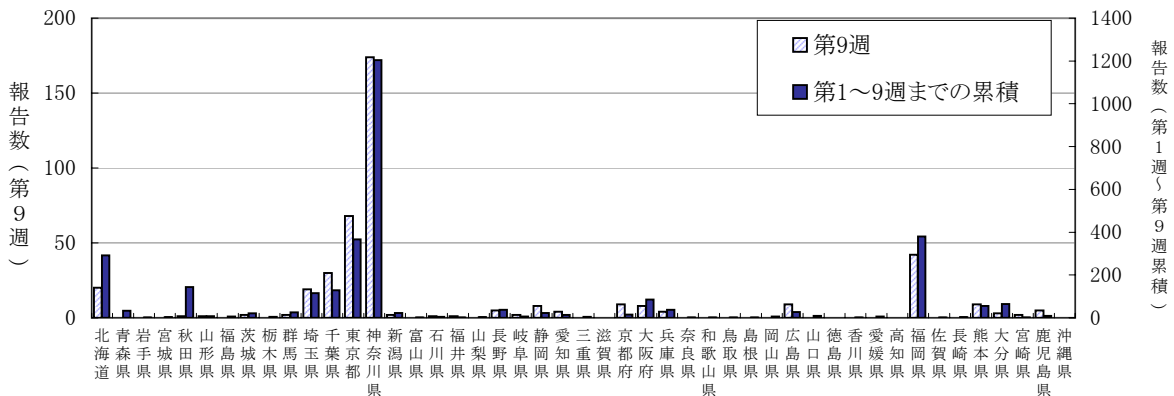
ワクチン接種の有無は、全国では10歳代までは接種無しが多く、20歳代以降、不明が多くなっています。本市では、10歳代の2例が接種無しで、他は不明となっています。

予防には、ワクチン接種が効果的であり、本市では、1歳児と小学校入学前年度の1年間(4/1～3/31)の児童は、定期接種として麻しん風しん混合(MR)ワクチン(又は麻しん単抗原ワクチン)の接種が可能です。

また、平成20年度から中学1年生及び高校3年生に相当する年齢の方に、第3期、第4期として、麻しんワクチンを接種する予定となっています。

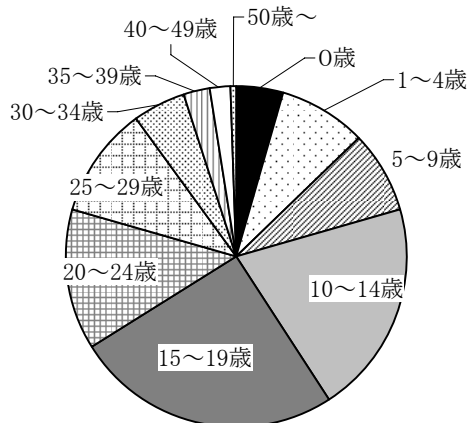
全数報告の際に必要な医師の届出票及び届出基準等については、下記の地域医療課ホームページに掲載しています。(http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000003673.html)

都道府県別報告状況



全国の年齢群別構成割合(第1～9週までの累積)

本市の第1～9週までの累積(n=6)



性別	男 3, 女 3
年齢	10歳代 3, 20歳代 1 30歳代 1, 40歳代 1
病型	臨床診断例 3, 検査診断例 3
ワクチン接種の有無	無し 2, 不明 4